

生活基盤施設耐震化等交付金チェックシート

計画の名称:宮崎県における水道基幹管路及び重要給水施設の耐震化事業

都道府県名:宮崎県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
対象市町の水道ビジョンに基づく事業計画であり、マスタープランに沿ったものである。	
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
本県の水道施設の耐震適合率は全国より低い状況であるが、本事業の実施により老朽管を中心に耐震対策を行うことで、南海トラフ沖地震等災害発生時にも安定供給が行えるなど、今後の災害対策等、強靱な水道事業づくりに繋げることができる。	
II. 計画の効果・効率性	
①事業計画の目標と定量的指数の整合性	○
基幹管路耐震化率: 施設の強靱化について確認できる。また、給水が必要な場所へ効率的に対策を実施していることが確認できる。 基幹管路耐震適合率: 施設の強靱化について確認できる。また、特に給水が必要な場所へ効率的に対策を実施していることが確認できる。	
②定量的指標の明瞭性	○
各指標とも実績数値の確認が可能のため、明瞭である。	
③目標と事業内容の整合性	○
各対象市町は、既存施設の問題点を整備しながら、統合による基盤強化を行っている。	
④事業の効果の見込みと妥当性	○
従前からの事業により、計画的に事業を進めており、目標値についても達成可能であると考えられる。	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等)	○
道路管理者との事前協議や事業認可等、進んでいるため問題はない。	
②地元の機運(当該事業に係る要望等)	○
計画達成により、災害等非常時を含めた給水サービスの向上が見込めるため、地元住民への安定給水に寄与するものと考えられる。	